



第7回パラレル脳研究部門 勉強会・セミナー

マウスにおけるゲノム編集と行動解析を 起点とした精神疾患研究



演者: 高雄 啓三 先生

富山大学 学術研究部医学系 行動生理学講座 教授
大学院 医薬理工学環 認知・情動脳科学プログラム長
動物実験施設長 アイソトープ実験施設長

日時: 2022年10月7日(金)15:00~16:00
野田キャンパス・講義棟K304

※他キャンパス向けにZoomでライブ配信いたします。



マウスの行動解析では遺伝子改変や薬物投与など個体に対する様々な実験操作の影響を個体レベルで評価することができます。私達の研究室では各種遺伝子改変マウスに対して感覚・知覚、運動機能、情動、認知機能などを評価する行動テストバッテリーを行うことで、遺伝子・脳・行動の関係を明らかにしてきました。本セミナーでは、マウスを活用した精神疾患研究を行う際に活用できる生殖工学の手法とゲノム編集技術による遺伝子改変マウスの作出、そして行動表現型解析の基本手法について実例を交えて説明します。さらに、得られた結果を解釈する際の注意点や新しい神経発達障害モデルマウス開発の可能性などについてもお話しします。

本セミナーは学部生、大学院生の聴講も歓迎します

主催: パラレル脳センシング技術研究部門

東京理科大学における脳研究の学際的な連携基盤の構築を目指し2016年度に発足した脳学際研究部門(BIRD)をより発展させるために2021年度に設立された新しい部門。学内の工・先進工・理工・薬学部・生命研および学外の研究機関から構成される。

世話人: 理工学部機械工学科 竹村裕 takemura@rs.tus.ac.jp

本講演は公開セミナーです。聴講希望の方は世話人までメールでご連絡ください。
必要な情報を折り返しお伝えします

